

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「キリストにしたがう わたしはかわる」

52回全国壮年大会実行委員長 石井 努 (北関東・太田教会)



「主は言われる。『わたしは生きています。すべてのひざはわたしの前にかがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と」ローマ14：11

日本バプテスト連盟の教会・伝道所に連なる壮年の皆様。日々、福音伝道に生かされておられると思

います。今年も皆さんが一堂に会し、旧交を温め又ある人は新しい主にある兄弟と握手を交わすその時が近づいて来ました。わたしたち全国壮年会連合は、これまで「神学生支援・伝道者養成・教会形成を担う」を念頭に歩みを進めて来ました。第52回大会も、この目標を念頭に進めていきたいと考えています。主題聖句でパウロは、すべての人は主の前に膝を折り主をほめたたえる存在であると、イザヤの言葉を引用しすべての人が神の御愛の中にいる家族であることを示唆しております。また、12章では「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえと

して献げなさい。これこそあなたがたのなすべき礼拝です。」とわたしたちに献身と自己変革を迫っています。伝道者養成・神学生支援・教会形成を進めて行かなければならないことは、わたしたち壮年の共通の思いであると認識しております。それを進めるためにも今、わたしたちには自己変革が必要なのではないでしょうか。わたしたち壮年は主をほめたたえる家族であります。主の愛を伝える口であり足であります。まずは、わたし自身を献身者として捧げ、共に歩む伝道者を支えていくそんな思いを新たにしたいと願うのです。今回のプログラムはゆったりとした時間の中で、諸問題に意見を交換し合い、共に賛美の声を上げる時を設け、壮年自身が主の家族として喜びを共有する時となることを確信しております。2泊3日、さわやかな高原にたたずむ天城山荘で、寝食を共にし、少年のように夢を語り、想いを同じくする壮年の豊かさを感じるときとしませんか。御参加をお待ち致しております。

公 示 2017年度総会において以下の通り選挙を行います。
＜立候補対象＞

- 2018・19年度 日本バプテスト連盟全国壮年会連合 会長、副会長 各1名および監査2名
「全国壮年会連合 規約」第7条および「同 規約細則第21条」による。会長立候補者は当選後、総会にて事務局長、書記、会計各1名を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。
 - 立候補締切り：2017年7月31日(月)
 - 全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。届出の内容は、「立候補する役員名、氏名、所属教会、受浸年月日」を記載してください。様式は自由です。
- ＜届出先＞選挙管理委員長：曾根基雄（南九州地方連合壮年会長）
(〒881-0027 宮崎県西都市南方2676-6 日本バプテスト児湯キリスト教会気付け)

選挙管理委員：

- 山田誠一（東京地方連合壮年会長）、松田裕二（中国・四国地方連合壮年会長）、菊岡義修（北九州地方連合壮年会長）
注1）選挙管理委員会は、総会当日まで立候補者名は公表しません。ただし立候補者ご自身のご判断で公表されることは自由といたします。
注2）会長と監査が同一教会・伝道所から立候補があった場合、選挙管理委員会にて調整させていただきます。

2017年度総会議案

1	1-1	2016年度全国壮年会連合活動報告	6	2017-2018年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案
	1-2	2016年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	7	7-1
	1-3	2016年度監査報告(業務監査)		
2	2-1	2016年度一般会計決算報告	7-2	2017年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2018年度全国壮年会連合奨学金会計予算案
	2-2	2016年度奨学金会計決算報告		
	2-3	2016年度監査報告(会計監査)		
3		2018年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額の件	8	2018-2019年度全国壮年会連合会長・副会長・監査選挙に関する件
4		全国壮年会連合規約細則改正に関する件	9	第54回(2019年度)全国壮年大会担当地方連合の件
5		2017-2018年度全国壮年会連合活動計画案	10	2018年度 総会議長の件

「喜びと蓄積の日々をめざして」

九州バプテスト神学校 牧師コース1年 飛永 孝



九州バプテスト神学校へのご支援を心から感謝いたします。また壮年会の活動を担い合う者としての挨拶を送ります。

「信じていることを知りたい」との思いから九州バプテスト神学校の聴講生として学び始め、本科、牧師課程へとほぼ5年の日々が過ぎて来ました。

最初は今後の教会での活動により奉仕できればと考えていました。事実として神学生として学びながら奉仕する場合と、そうでない場合では教会への奉仕の内容も違って来るし、学びの内容・蓄積も違うことも実感しながらの5年間でした。

牧師コースへの進学については、75歳を過ぎており今後の奉仕の可能性を考え躊躇するところもありました。しかし知る限りでも様々な厳しい困難を抱えている教会があることを聞き、私でなければ出来ない奉仕もあるのではと考えるようになりました。そのためには「神の言葉」を真剣に学び、自らをもう少し作り

直さなければならぬと覚悟を決めました。

マルクス主義(レーニン主義)を正しいと考え(今でも社会科学として人間理性と経験の極めて重要な成果の一つと考えていますが) -20代から50年間その方向で生きてきた者として神学校での学びは新しい人生の喜びを伴うものでした。

神学校に来る前の約2年間マルコ福音書との向き合いの時期がなかったら多分超えられなかった山々ではなかったかと考えています。そして神学校の授業がなかったら多分本当のことはわからないまま自己流の理解で終わってしまっていたのではないかと考えています。

神学校での日々の教室授業の積み上げ、教師・先達の教え与えるものは、本当にすごいものがあります。また学びの仲間達との交流・励まし合いの中で得るものも大きいものがありました。

あと1年半の学びの年月が残っています。昼夜と予習復習に追われ、教会の奉仕と息のつかない毎日になっていますが、少しは息抜きも考えながら喜びと蓄積のある日々をしたいと考えています。

「神奈川地方連合壮年会」

神奈川地方連合神学校献金推進委員 安里耕二(川崎教会)



神奈川地方連合壮年会は、21の教会・伝道所が参加して成り立っています。構成人数のバランスを考慮して5ブロックに分けて、壮年会役員は回り持ちとしております。現在は、百合丘キリスト教会と川崎バプテスト教会がその担当になっています。北村(百合丘)、豊永(川崎)、安里(川崎)が役員となっています。

私が連合壮年の交わりに参加するようになったのは、神奈川地方連合主催の全国壮年大会が、2011年に開催されるために準備を始めた時でした。実行委員会が立ち上げられ、たまたまそこに居合わせて、そのお手伝いをする事になりました。

それまでは教会内の壮年例会に出席する程度で、他の教会の事はよそ事のように思っていました。教会学校や例会で学びが深められる中で、バプテスト教会は

信徒一人ひとりが信仰的に自立して、教会を支えていく事が必要である事を考えるようになりました。その中で壮年が神学生の支援のため、神学校献金(神学生奨学金献金)を推進する役割を担っている事に気付かされました。

2011年は、その年の3月に、あの東日本大震災が発生した年です。実行委員会では準備が進められる中、開催を断念する事も考え、全国の壮年からの意見を聞きながら、真剣に検討を繰り返しました。このような時だからこそ開催して共に支え合おう、という意見に後押しされて開かれた大会だったと思います。

2年後の2019年に、神奈川が再び主催者として、全国壮年大会を迎える予定となっています。連合中心に東北の被災地支援も続けております。全国壮年大会も、連合の壮年が交わりを深め、お祈りを持って力を合わせて、取り組んで行きたいと思います。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp